

工業「繊維・染色技術」	単位数	2単位
	学科・学年	繊維科・第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 色彩に関する様々な知識を深め、色彩が人間生活の中にどのように関わっているかを理解する。 2 色彩の持つ心理的効果や物理的効果を理解し、効果的な配色や活用方法を学習する。
使用教科書・副教材等	新版カラーリング技術（実教出版）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 囲
1 学期	1 色彩と生活 2 カラーリングと染色加工	4	・色彩と人間生活の関わりについて学習する。	中間
		5	・染色の歴史について学習する。	
		6	・光と色の関係について学習する。	期末
		7	・眼の構造について学習する。	
2 学期	3 光と色の見え方 4 J I Sによる色の呼称方法 5 三属性による色の表示方法	8	・J I Sによる色の呼称方法について学習する。	中間
		9	・色の三属性について学習する。	
		10	・マンセル表色系について学習する。	
		11	・P C C S表色系について学習する。	期末
		12	・オストワルト表色系について学習する。	
3 学期	6 測色による色の表示方法 7 色彩管理	1	・混色の原理について学習する。	学年末
		2	・さまざまな混色について学習する。	
		3	・色彩心理について学習する。	

(2) 評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩が人間生活に与える影響に関心を持ち、その仕組みや原理について自ら学習しようとする意欲があるか。 ・生活する中で目に付く様々な色彩に目を配り、学習と関連付けて考えることができるか。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・各種規格（J I S規格、P C C Sなど）に従って色を認識できるか。 ・各種規格による色の呼称方法を用いて表現できるか。 ・適切な語句を使って専門用語の説明ができるか。
技 能	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な配色方法を身に付けているか。
知 識 ・ 理 解	<ul style="list-style-type: none"> ・人が色を認識する仕組みを知っているか。 ・単独色や複合色の色彩が心理的・物理的にもたらす影響を理解しているか。
<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は、定期考査・実技評価を基本として、上記4つの観点を含めた平常の学習活動・学習態度、ノート・プリント・課題などの提出物、出席状況などにより総合的に判断する。 ・学年末の成績は、第1・2・3学期の評価をもとに総合的に判断して評価する。 	

3 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・授業で取り組んだ内容について、色彩検定問題集なども活用しながら確認していきましょう。 ・実際の生活にある様々な色彩について、学習した内容を確認したり、疑問を持ったりしましょう。 ・学習した内容を服装のコーディネートに応用させていきましょう。
